

平成27年4月27日

関係各位

(公財)日本体操協会
リオデジャネイロオリンピック強化委員会
女子体操競技強化本部
審判委員会
女子体操競技審判本部

女子体操競技情報 22 号の補足について(通知)

先般、女子体操競技情報 22 号を通達させていただきましたが、国際体操連盟より 4 月 10 日付けで 2013 年版採点規則のヘルプデスク最新版が配信され、通達内容の補足説明が追加されました。緊急に伝達が必要な規則の変更は含まれていないため、ヘルプデスク最新版の内容は時期をみて追って伝達する予定でありますが、女子体操競技情報 22 号で通達した内容のうち不明確であった以下の内容のみを通知し、採点のガイドラインとさせていただきますと思います。今回の通知は、新しい規則の追加や変更ではなく、不明確であった内容の基準の提示であり、それにより技の承認がより明確になると考えます。つきましては、競技会直前の通知となりますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

記

【通知内容】

女子体操競技情報第 22 号 9 ページ
「ダンス系の技のひねりの承認」

ダンス系の技の直接の組み合わせについて

180 度またはそれ以上のひねりを伴うジャンプ、ホップ、リープでの適用

ゆか: ひねりを伴うジャンプ、ホップ、リープの技が、難度表にある他の技*に直接組み合わせられた場合、最初の技が正確にひねりを完了しなくても、(最大 45 度までの不足で選手が次の技に続けることができた場合)最初の技は難度価値は下がらない、または難度表にある他の難度になることはない。
組み合わせの最後の技は正確に技が完了されなければならない。

難度表にある他の技*:ジャンプ、ホップ、リープまたは空中局面を伴う技
(空中局面を伴う技は手の支持があってもなくてもよい)